



令和7年  
(2025年)  
12月号  
Vol.72

# もちのき

(社会福祉法人愛の森広報紙/一般用)



[発行]社会福祉法人愛の森(厚木市森の里青山 14-2(Tel:046(248)5211)) [編集発行責任者] 國分 隆之

## チコちゃんに叱られないように💧(今年一年を簡単に振り返りつつ)

師走になりました。年を取るほど1年が早い、とチコちゃんの番組で見た記憶があります。科学的にどうかはさておき、実感としてはそのとおりです。私の毎月のルーティンは「もちのき」編集ですが、常に締切に追われ「巻頭言」のネタを考えている1年だったように思います💧。

ごく簡単にこの1年を振り返ります。個人的に一番思い出深いのは久々にフルオープン実施の「森のカーニバル」。学園創設以来の秋のお祭りもコロナ禍以降ご招待等を控えておりましたが、今年は幅広くお声かけできました。ご家族や森の里・上古沢という地域の方々は勿論、政官も含め多くの方がご来園。一寸した社交場のようになっていて、それもまた一興でした。

春には、学園開所以来入所利用者さんの人気者だった方が急な病を得てお亡くなりになりました。利用者さん、職員とも、その「ロス」には相当なものがありましたが、お別れのセレモニーは勿論、事案としての総括や振り返りなど、丁寧に行うよう心がけ、対応しました。

虐待事案はありませんでしたが、不適切な事案が全くなかったとはいえません。また、職場のハラスメント事案もありました。こういった事案が発生したときは、速やかな対応の開始、必要な官公署等報告や事案ごとの丁寧な事実認定と再発防止策の検討・実施、そして家族会や役員会などへの報告等、一連の所作が求められますが、概ね適切にできたと思います。

支援や厨房等の現場では、若手・ベテランを問わず、色々な工夫を編み出して利用者さんの日々を楽しいものにしてくれました。もちのきでも度々取り上げているホリデー日課、そして長年の懸案だった遠距離旅行(ガイドヘルパー外出の一環)としての有志利用者さんによるディズニーランド行き(本号参照)、久々に実施することができた「厨房企画」(同)等々、日常も非日常も、利用者さんに楽しく過ごしてもらえれば、と思いながらの一年でした。

チコちゃん曰く、「大人になるとあっという間に1年が過ぎるのは、人生のトキメキがなくなるから！」だそうです。利用者さん、ご家族、そして職員も年齢が上がっていく昨今、創意と工夫により来年もトキメキの溢れる学園にしていければと思います。良いお年を！ [國分 隆之]

## [スポーツ] 昔懐かしきパン食い競争も！ 厚木市障がい者体育大会：10月4日(土)

荻野運動公園にて開催の第64回大会に行って参りました。会場の体育館には、市内の団体・事業所から多くの方が集うなか、学園からは3名の選手がエントリー！

競技はあゆコロちゃん体操での準備運動に始まり、「あゆコロ釣り競争(釣り竿であゆコロ缶バッジを釣る)」、「手話ソング(手話でサザエさんの歌を歌う)」等の創意あふれるものから、昔懐かしパン食い競争に至るまで、様々なものに参加することができました。他団体から参加の方々には馴染みの顔も見られ、交流のひとつときにもなりました。





## 「衣」の選択

今年2回目の衣類出張販売は5月と違うお店をお招きし！：11月11日(火)

日々の生活を構成する「衣食住」のうち、利用者さんの自己選択推進への取組みがこれまで一寸弱かった「衣」の分野。今年2回目の衣類出張販売を行うことができました。

なにごとともそうですが、利用者さんに気持ちよく、そしてスムーズにイベントに参加していただくには、入念な準備が必要です。出張販売事業者さんとの事前の打合せでは、商品の3階サロンへの搬入時間や、会場のレイアウト・レジの置場に至るまで、きめ細かく相談します。事業者さんとの打合せが終わったら、利用者さんやご家族から、希望する商品の種類やイメージをお聞きして、事業者さんに事前に伝達。今回はやはり冬物へのオーダーが多かったようです。

そして迎えた当日。キャラクター柄の衣類に目を光らせ事前の予定に追加して購入される利用者さん。とても気に入ったのでしょう、購入した長袖のシャツを早速お召しになり職員室まで見せに来て下さる利用者さん、などなど。一方で入念に準備したつもりが、一寸サイズが合う物が見つからず、残念ながら今回は購入を見合わせる方もいらっしゃいました。

今年度2回目、通算3回目の今回は、これまでと違うお店をお招きしての実施となりました。店舗ごとに取り扱う衣類の種類や特徴に個性があることを改めて感じるとともに、サイズの把握などに一寸反省点があったことも意識しつつ、次回は、より利用者さんに喜んでいただけるイベントにしたい、と思った担当でした。



## 「衣」とくれば「食」!

久々の厨房企画は「選べるどんぶり 4種から!」：11月26日(水)

四季ごとに1回はやりたいね、とスタッフ一同思いつつも、ここのところ、なんやかやで「土用の丑のうなぎ」を除いて一寸ご無沙汰だった厨房企画。複数メニューから選んでいただく、という原点に立ち返り、普段の選択メニュー(※)が「2種類から」なので、その倍の4種から選んでいただく企画を立てました! 題して、「選べるどんぶり 4種から!」。

※ ほぼ毎週、水曜日のランチは、メインを2種から選択することになっています。

4種の「どんぶり」は、利用者さん全体のお好みを知り尽くしている栄養士がその最大公約数を勘案して決定した、①ネギトロ丼(生もの大好き!）、②ソースカツ丼(やっぱりお肉!）、③中華丼(旬の白菜と鶏の卵!）、④マーボー丼(ちょっとピリ辛の大人味!）、のラインアップ!

前日、学園内にメニューのポスターが掲示されると、皆さん「明日はどれにしようかな♡🍱」?とひそひそ・ソワソワ。

[次ページに続きます。]





当日は、いつものとおり、食堂の入口、よそったご飯をお渡しする場所で、まずは好きなどんぶりを3点選んでいただきました。一番人気は、「やっぱりお肉！」のソースカツ丼、次がネギトロ丼、という結果となりました。集団給食施設として暑い時期を含めなかなか生ものはご提供する機会が少ないこともあり、ネギトロ丼に舌鼓を打つ利用者さんの姿が印象的でした。

「おかわり自由」としたところ、6杯も完食された方がいる一方、どんぶりは2杯でよいのでデザートゼリーのお替りを！と仰る方もおられるなど、いつもながらの利用者さんの自由で想定外なお振る舞いに、スタッフ一同、新鮮な体験をさせていただきました。

盛り付けるご飯がいつもの4倍、かつ、温かいものは温かく、冷たいものは冷たい状態で、という対応のため、色々な企画に慣れている学園厨房スタッフも、炊事場と食堂を行ったり来たりで汗だくとなっているのが印象的でした(^^)。

### **[収穫!]** 農福連携3年目！今年もまずまずの収穫でした(^^)：11月7日(金)

森の里にお住まいの高村市議のお骨折りで3年目を迎えた「農福連携事業」。地域にお住まいの方や管清工業様をはじめとする企業の方々とのコラボレーションが深まっています。

一方で、異常ともいえる猛暑の影響は、野菜栽培を年々難しくさせる要因にもなっているなか、今年のお芋🍠の出来はいかに??

秋晴れの11月7日(金)、今年の農福連携事業の成果を確かめる日がやってきました。大豊作と言えるかどうかはさておき、大きいサツマイモから小ぶりのものまで、まずまずの収穫量となりました。利用者さんたちも、農作業がすっかり板について楽しそう！収穫物🍠は、日課の一環で焼き芋にしたり、12月に開催予定の収穫祭にも提供される予定です。



### **[作品販売2題!]** 利用者さんがつくり、施設長が売る！～作品販売の実況です(^^)

利用者さんが日課のなかでつくる数々の作品を、どのように売っていくか…。作品販売に関わるお話を2題お届けします。

### **[紅梅会さんのお祭りで!]** 女性利用者さん向けに可愛いアクセサリを：11月2日(日)

ここ数年、市内の老舗法人紅梅会さんの秋のお祭りに、手作り作品販売ブースを出させていただいています。紅梅学園は女性専用施設ということもあり、可愛いビーズブレスレットやシュシュなどが好評です。

今年も同会の就労支援事業所に通所している2名の利用者さんとともに作品販売に行ってきました。「販売」と「お祭り」、1粒で2度美味しいひとときでした。





**[さつま芋とともに存在感を！]**

**森の里の「森もりマルシェ」で完売！：11月15日(土)**

森の里地区と愛の森学園は、森の里地区が少し年長さん、という感じでともに昭和の終わりにできました。11月15日(土)、「森の里40周年記念森もりマルシェ」開催に際しては、我が学園にもお声かけいただき、手作り作品や、先日掘ったさつま芋の販売を行いました。

マルシェは午前中だけの開催でしたが、多くの地域の方で賑わっており、学園の手作り作品の売上げも絶好調！特にさつま芋は「完売」！「森の里」と「愛の森」。いつも寄り添っていただく地域の皆さまに感謝しながら、それとなく存在感を発揮していきたいと考えています。



**[究極のガイヘル]**

**有志で企画し、東京ディズニーランドに行きました！：11月5日(水)**

今回、1人の入所利用者さんの兼ねてからのご要望にお応えするため、ガイドヘルパーの一環として東京ディズニーランドに行く企画を練っていたのですが、他の利用者さんからも、「ディズニーランド行きたい！」という声があがり、3名の仲のよい利用者さんに職員3名の総勢6名での企画旅行となりました。

それぞれのお好みのアトラクションを4つ、そしてパレードも見てからお食事、お土産購入とディズニーランドの定番を楽しんできました。利用者さんのお好みはそれぞれでしたが、皆で一丸となった遠出の旅旅行企画を満喫し、翌日には、心地よい疲労感とともに「また行きたい」とのご希望を仰る方も！

事前の企画検討に際しては、天候は勿論、感染症への対策、利用者さんごとの外出支援に当たっての配慮事項などなど、心配ごとが多々ありましたが、皆さんの楽しんでいる様子を見て、「ほんと来てよかった！」と思う担当でした。

ディズニーランド企画は過去にもあり、新人職員の頃に先輩が企画しているのを横目でみながら、長距離旅行は利用者さんとの信頼関係がないとできないイベントだ、との思いがあったため、今回、職員としても達成感を感じさせていただける外出となりました。



○ 法人設立から間もなく40年。利用者さんの高齢化や施設の老朽化等が進むなか、私たちは、障害者総合支援法等に基づき国・自治体から支払われる報酬をベースに、出来る限りの経営努力を行いつつ、利用者さんの安全で楽しい毎日のための諸取組みを積極的に行っていきたいと考えています。

○ 一方、当法人の事業にご賛同いただき、ご支援いただける方からのご厚志はありがたくお受けしています。当法人では皆様からのご厚志(寄附金)は他の事業経理と区分して管理しています。皆さまのご厚志は、利用者さんの生活をより豊かにするためのサービス提供や、中長期的な施設建設積立などによりのみ充当され、一般的な事業経費には流用されません。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【寄附金についてのご照会窓口：(福)愛の森総務課(Tel:046-248-5211(代表)、担当:武藤・國分)】

【寄附金受入管理専門口座：ゆうちょ銀行 / 記号 10950 / 番号 39350301 / 口座名義 7㊦アノリ】

【領収証の送付手続き等もありますので、電話かメール(info@ainomori.or.jp)でのご一報も頂けると幸いです。】

